

(気象庁・気象研究所)

局地的大雨の観測監視技術を強化し、局地的大雨のメカニズムの解明と予測技術の開発を図り、気象警報等の精度向上により、国民の被害軽減に寄与する。

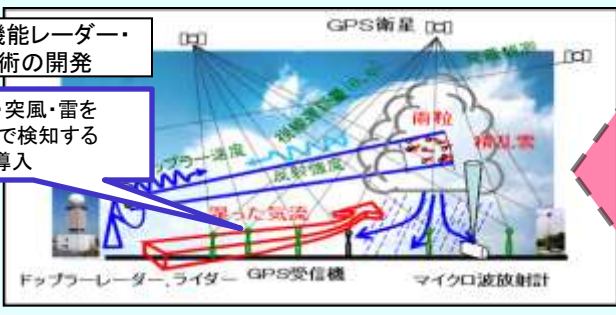
(水管理・国土保全局・国土技術政策総合研究所)

レーダ観測網等を活用した洪水・浸水状況の監視・予測の高度化等を図ることにより、河川管理や水防活動における導入を推進。

観測・監視技術開発

局地的大雨等を観測する高機能レーダー・GPS等を用いる観測・監視技術の開発

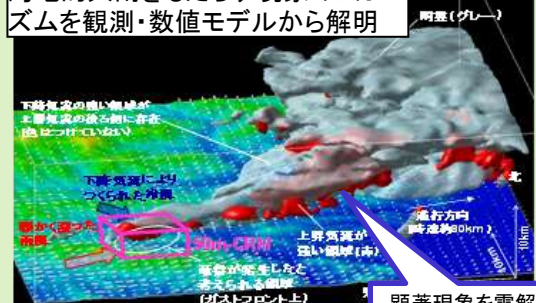
局地的大雨・突風・雷をリアルタイムで検知する最新機器を導入



反映

現象解明

局地的大雨をもたらす現象のメカニズムを観測・数値モデルから解明

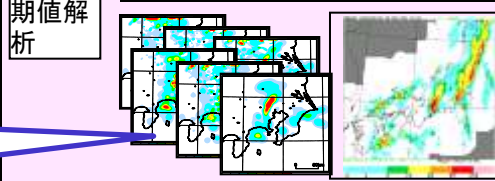


局地的大雨等の観測・監視能力、予報精度の向上

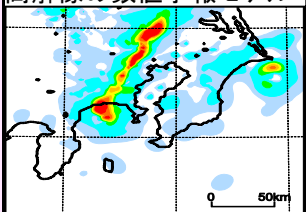
気象警報・気象情報の精度向上により国民の被害軽減に寄与

予測技術開発

同時に複数の予測計算(アンサンブル予報)を行い、違いを評価し、局地的大雨確率を予想



局地的大雨等を表現しうる高解像の数値予報モデル



反映

アンサンブル予報システムの高度化

洪水・浸水の監視・予測

●XバンドMPLレーダによる降雨観測



●航空レーザ計測による高精度の地形データ



●分布型洪水予測モデルによる流出解析



●センサー等を活用したリアルタイム浸水状況の把握



観測データの提供

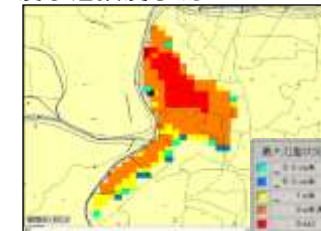
予測データの提供

洪水・浸水の監視・予測の高度化

氾濫危険度予測イメージ



浸水危険度予測イメージ



○適切な水防活動や河川管理の実施
○関係自治体や住民等への洪水・浸水予測情報の提供により迅速かつ的確な避難行動を支援